



2023年12月19日 図書部 柄澤可奈子

師走の慌ただしい季節となり、今学期も残すところあと僅かになりました。

12月の図書室壁面はここ数年、年長さんへの応援の意味も込めて「きらりの会」で演じるお話を題材にしています。今年は「スイミー」でしたね。保護者の皆様もおそらく教科書で読んだことがおありではないでしょうか。大人になって読み返してみると小学生の時には気づかなかったことを改めて発見したり、感じたりすることができるかもしれません。

今回は、レオ・レオニさんの作品を紹介します。

ご興味のある方はこれを機会に是非お子様と一緒に読んでみてはいかがでしょうか。

2学期もありがとうございました。ご家族で楽しい年末、年始をお過ごしください。

3学期もどうぞよろしくお願いいたします。



### レオ・レオニの世界

作者のレオ・レオニさんはオランダ生まれ。父親の仕事の関係でベルギー、イタリア、スイスと色々な国に住んでいました。アメリカでイラストレーターやグラフィックデザイナーとして活躍した後に「あおくときいろちゃん」で絵本作家としてデビュー、「スイミー」は1963年に出版され、今年で60年を迎えました。日本では1977年から小学校の教科書に採用されています。

彼の作品の特徴は、抽象的な形、魚、鳥、動物が主人公になっていることです。デザイナーの経験を活かし絵本にも以下のように色々な方法を採用していますので、見比べてみるのもおもしろいですね。

・「フレデリック」

・「アレクサンダとぜんまいねずみ」

コラージュという切った紙を貼り付ける貼り絵のような方法

・「スイミー」

“モノタイプ”という紙やアクリル板に油性または水性絵具で絵を描き写しとる方法

・作品によって色鉛筆だけで描かれたもの  
・スタンプ(スタンプで押していく方法)など

\*は図書室にあります。 ☆は谷川俊太郎さん訳・出版社は好学社です。



\*あおくときいろちゃん

藤田圭雄 訳 至光社

レオ・レオニさんのデビュー作であり、孫のために作られました。仲良しのあおくときいろちゃん。遊んでいるうちに「みどり」になってしまいました。それぞれの家に帰ると家族は・・・



せかいいちおおきなうち ☆

背中におうちを背負い葉から葉へ移動するかたつむり。ある日、小さなかたつむりがお父さんに「大人になったら世界一大きなおうちがほしい」と言いました。それを聞いたお父さんがある話を始めます。



じぶんだけのいろ ☆

カメレオンは周りの色に合わせて色が変わってしまい自分だけの色が無いのを悲しく思っていました。ある日、別のカメレオンに出会い、同じ気持ちだとわかり、自分の考え方に変化が訪れます。



\*アレクサンダとぜんまいねずみ ☆

ある日、ぜんまいねずみのおもちやウィリーとのねずみのアレクサンダは友達になります。ウィリーがみんなにかわいがられていると知り、アレクサンダは願いをかなえてくれる虹色のトカゲに会いに行きます。



\*フレデリック ☆

冬に備えて食料を蓄えている野ねずみたち。フレデリックだけは何もせずじっとしていましたが「こう見えたって働いているよ」と言っていました。やがて冬が来て食べ物が無くなった時、フレデリックみんなのために言いました。



\*コーネリアス ☆

立って歩くことのできるワニのコーネリアス。そのことを、他のワニ達に自慢してもみんなは「それがどうしたの?」と言われてしまいます。そこで、新しい世界を見るために旅に出ることにします。さあ、どうなるでしょう?

## 図書ボランティア活動報告

12月6日に図書ボランティアの活動を行いました。ご参加してくださった保護者の皆さまありがとうございました。今回も大型絵本、図鑑を中心に修理をしました。経験者の方も初めての方も手際よく作業をしてください、おかげさまでたくさんの本を修理することができました。

子どもたちにも保護者の皆さまがお手伝いしてくれたことを伝えて、これからも大切に読んでいきたいと思います。3学期も活動を予定しております。簡単な作業ですので、皆様のご参加をお待ちしております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



### 来年の干支は辰年です。竜やドラゴンの出てくる本を紹介します。

\*は図書室にあります



#### \*赤い目のドラゴン

アストリッド・リンドグリーン作  
岩波書店

ある日、女の子の家の豚小屋で10匹のブタと一緒に赤い目をしたドラゴンが生まれました。

お母さん豚はドラゴンにお乳をあげるのを嫌がったので、女の子がドラゴンを育てることになりました。

#### \*エルマーとりゅう

ルース・スタイル  
ガネット作 福音館

「エルマーのぼうけん」の続編。家に帰る途中で嵐にあいカナリヤだけが住んでいる島に不時着したエルマーとりゅう。

その島で、カナリヤの王様から宝箱探しを頼まれます。

#### りゅうのめのなみだ

濱田広介 作 偕成社

みんなから怖がられていた竜。ある日、竜を怖がらない男の子が自分の誕生日に竜を呼ぶことにしました。

誕生日、男の子は竜に会いに行きます。

さて、竜はお誕生日に来てくれるでしょうか？

#### \*ちび竜

工藤直子 作 童心社

小さな粒から生まれたちび竜。色々な生き物と出会い、たくさんのお話を教えてもらいます。やがてどんどん大きく成長した竜。風や水、土とも仲良くなりました。

#### \*ほしになつたりゅうのきば

君島久子 作 福音館

あるとき、2匹の竜がけんかをして天が裂けてしまいました。その天の裂け目の下の村に住んでいたサンという若者が村のために天の裂け目を元に戻す方法を探しに山へ出かけます。果たしてサンは天の裂け目を元に戻すことができるのでしょうか？

## 年末年始におすすめ絵本



#### \*ほかほかゆずおふる

すとうあさえ作 ほるぶ出版

柚子をたくさんもらったあつくんはゆず屋さんを始めます。ゆず湯にはいって「ん」のつく食べ物を食べると風邪をひかないそうです。12月22日の冬至の日に読んでみてくださいね。

#### \*こたつ

麻生知子 作 福音館

皆さんのおうちにこたつはありますか？このお話は大みそかの朝に、夜中まで起きてると宣言したこうたくんが新年を迎える様子を描いています。

こたつを真上から見る楽しい絵本です。ちょっと懐かしい風景です。

#### \*十二支のおもちつき

すとうあさえ作 童心社

年末におじいさんとおばあさんが餅つきの準備をしていると、お腹をすかせたネズミがやってきました。

お米をあげると次の日、ネズミが十二支を連れて餅付きの手伝いをしてくれることになりました。

#### どんぶらどんぶら七福神

みきつき作 こぐま社

七福神を知っていますか？この絵本は調子のよい数え歌で七福神を紹介。繰り返し読めば7人の神様を覚えられるかもしれませぬ。

初詣に行く前に読んで池上の七福神巡りをするのもおすすめです。

#### \*じょやのかね

とうごうなりさ作 福音館

大晦日の夜に男の子がお父さんと除夜の鐘を突きに行くお話です。表紙を見てわかるように全ページ版画で黒と白の2色ですが、夜の暗さや寒さがリアルに伝わってきます。

除夜の鐘をつく場面は本当に音が聞こえてきそうです。